

2025年度 第2期 オンライン研修・講習会のお知らせ

一般社団法人日本音楽療法学会
研修・講習委員会

2025年度 第2期オンライン研修・講習会は、**新作4講座（うち資格指定講座2講座）**をご視聴いただけます。
2025年10月1日（水）正午～2026年1月5日（月）午後11時59分まで視聴することができます。

動画の視聴申込は 2025年10月1日（水）正午より、マイページにて行ってください。

◆視聴申込・ご入金【銀行振入の場合】振入受付は2025年12月24日まで（※年内営業日の3日前）
期日厳守でお振込みください。【クレジットの場合】クレジットお支払いのみ、～2026年1月5日まで決済可能。
決済完了後、～2026年1月5日までご視聴が可能です。

◆視聴料：1講座 2,500円

□ 2025・第2期 - 新作1（ベーシック枠）



工藤 久美 氏

タイトル	特別支援教育の理念と制度—音楽療法の視点から基礎を学ぶ—
内容	現在、音楽療法の現場でも特別支援教育に関わる機会が増えています。 通常学級にも支援を必要とする子どもが多く在籍し、発達や学びに困難を抱える子どもの理解と配慮が求められています。 本講義では、特別支援教育の理念や制度、合理的配慮やインクルーシブ教育の考え方に加え、特別支援学校で重視される「自立活動」についても学びます。 音楽療法士として、子どもの特性に応じたより良い支援を実現するための基礎的な視点を身に付けることを目的とします。
講師名	工藤 久美 氏
プロフィール	国立音楽大学音楽教育学科リトミック専修卒業、兵庫教育大学大学院学校教育研究科修了。知的障害を伴う自閉症を対象とした学校教育に長年取り組む中で音楽療法を学び、日本音楽療法学会認定音楽療法士の資格を取得。現在、筑波大学附属久里浜特別支援学校副校長、特別支援教育士。

□ 2025・第2期 - 新作2 (アドバンスト枠)



大山 祥子 氏

タイトル	特別支援教育における音楽療法的な視点に基づく実践 —音楽療法士が教育現場に関わることの意義を探る—
内容	本講習では、特別支援教育における音楽療法的な視点に基づく授業づくりの実践について、学習指導要領に示される「主体的・対話的で深い学び」や自立活動のねらいとの関連を軸に紹介し、音・音楽がもつ多面的な働きを活かす視点が、教育活動にどう関わりうるのかについて考察します。 教員との協働による授業実践の具体例にも触れながら、音楽療法士が教育現場で、子どもの成長発達や豊かな学びをどのように支援できるのか、その可能性を探っていきます。
講師名	大山 祥子 氏
プロフィール	昭和音楽大学音楽芸術運営学科音楽療法コース卒業。 同大学院音楽研究科修士課程(音楽療法専攻)修了。 日本音楽療法学会認定音楽療法士。 卒後、リハビリテーション病院で勤務したのち、 現在は、昭和音楽大学、フェリス女学院大学にて非常勤講師のほか、 特別支援教育や精神障害の分野など、幅広い領域で音楽療法を実践している。

□ 2025・第2期 - 新作3 (資格更新指定講座)



村林 信行 氏

タイトル	音楽療法を行ううえで必要な倫理的な考え方についてー臨床・研究を中心としてー
内容	<p>音楽療法士が対人援助の専門職として社会に認知されると、専門家としての倫理的な態度が要請される。倫理的な態度とは、人間同士が関わる場面で相手に対する影響に関してそれなりの配慮をすることと言える。</p> <p>日常臨床では音楽療法士はクライアントと比較して、音楽療法に対して多くの知識と経験を持っている。このことから、クライアントに対してどのようなことに配慮することが適切なのか。</p> <p>また近年個人情報保護法が改正され、人を対象とする研究に関して、研究者に求められる配慮事項や、対象者に説明する項目がより詳細になってきている。</p> <p>本講習会では、音楽療法士に必要な倫理的な考え方を、職業倫理、研究倫理を中心として解説し、研究倫理に関しては近年の変化についても知識の共有をはかりたい。</p>
講師名	村林 信行 氏
プロフィール	<p>1986年 東邦大学医学部卒、同年東邦大学心身医学研究室入局</p> <p>1996年 聖路加国際病院内科 (心療内科担当)</p> <p>1999年 横浜相原病院心療内科医長</p> <p>2004年 医療法人社団信俊会 心療内科アーツクリニック大崎院長</p> <p>日本音楽療法学会常任理事、学術・研究委員会委員長</p> <p>昭和音楽大学客員教授</p> <p>精神保健指定医、日本精神神経学会精神科専門医</p> <p>日本心身医学会代議員、日本うつ病学会評議員、日本ストレス学会評議員</p> <p>日本行動医学会評議員</p>

※ご視聴いただくにあたっては、当学会発行テキスト：『日本音楽療法学会 倫理ハンドブック』をご用意ください。

□ 2025・第2期 - 新作4 (資格更新指定講座)



延増 拓郎 氏

タイトル	音楽療法士のための「著作権の法的知識と実務の基本」
内容	音楽療法士は、音楽療法実践において、楽曲や、楽譜又は歌詞カードを使用しています。楽曲をそのまま使用するのではなく、替え歌や編曲を行うこともあります。楽曲の使用方法も、対面の場合、オンラインの場合、YouTube 等の動画を利用する場合など、さまざまです。音楽療法実践だけでなく、音楽療法の研修会・講習会において楽曲等を使用することもあります。一方、著作権法は、作詞家・作曲家、歌手・演奏家等の権利を保護しています。したがって、楽曲の使用の際には著作権に配慮をする必要があります。今回の研修では、音楽療法士において必要な、著作権の法的知識と実務の基本について、近時の参考となる裁判例もご紹介してご説明をいたします。
講師名	延増 拓郎 氏
プロフィール	1994年 明治大学法学部卒業 1998年 司法試験合格 2000年 弁護士登録 原山法律事務所入所 2003年 石寄信憲法律事務所（現在石寄・山中総合法律事務所）入所 2011年 ヴァイスパートナー就任 2013年 パートナー就任 2022年 代表弁護士就任